

## 2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	伝統的木造建築物設計例整備小委員会	主 査 名：大橋好光 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (木質構造運営委員会)	委員長名：塩原 等 主 査 名：河合直人
設 置 期 間	2016 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本会の『限界耐力計算による伝統的木造建築物構造計算指針』を追補する形で、具体的な設計例を整備する。</p> <p>初年度：①本会の『限界耐力計算による伝統的木造建築物構造計算指針』を追補する形で、進めてきた、構造要素の設計法を完成させる。②「住宅タイプ1」の設計例をまとめる。</p> <p>2年度：①「住宅タイプ2」の設計例をまとめる。②「社寺タイプ1」の設計例をまとめる。</p> <p>3年度：①「社寺タイプ2」の設計例をまとめる。②以上の設計例をまとめて、「設計事例集」をまとめる。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：有</p> <p>主査：大橋好光 (東京都市大学)</p> <p>幹事：中尾方人 (横浜国立大学)、藤野栄一 (職業能力開発総合大学校)</p> <p>委員：宇都宮直樹 (近畿職業能力開発大学校)、軽部正彦 (森林総合研究所)、河合直人 (工学院大学)、北守顕久 (京都大学)、楠寿博 (竹中工務店)、坂田弘安 (東京工業大学)、佐藤弘美 (金沢工業大学)、荘所直哉 (明石工業高等専門学校)、戸田正彦 (北海道立林産試験場)、宮本慎宏 (香川大学)、山崎義弘 (東京工業大学)、山田耕司 (豊田工業高等専門学校)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>伝統的木造建築物設計例作成 WG</p> <p>目的：小委員会のメンバーは、壁や接合部などの要素の実験・解析を行っている人が殆どのため、建物の設計例に詳しい人に加わって頂き、一緒に作成する。</p>	
2018年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：-

項 目	自己評価
委員会開催数	8 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 要素設計法については、概ね終了した。設計例は、住宅 2 件の設計例を整備し、寺院 1 件について整備中である。</p> <p>2. 当初は 4 物件を予定していたので、1 件が不足している。</p>
委員会活動の問題点 ・課題	<p>1. 設計事例を、学会の計算例として公開の許可を得るのが難しいが、理解を得られるように探していく必要がある。</p> <p>2. 物件そのままではなく、一般化、修正して、計算していくことも必要である。</p>